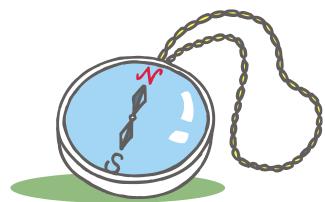


羅針盤



第 1 号

令和6年4月8日（月）

◆『あ・ひ・る』の約束を継続！

本日、令和6年度の1学期始業式を無事に迎えることができました。新型コロナウイルス感染症については、5類感染症へと移行されて来月には1年が経過することとなります。外出などの制限、あるいは、陽性者登録や健康観察などはなくなったものの、一方では、医療費については自己負担が生じることとなりました。また、マスクの着用は個人の判断に委ねられてはいますが、十分なる終息がまだまだ不透明な現時点においては、誰もが安心してマスクの着用が必要とされない状況となるための時間はまだまだ必要なようです。学校では引き続き、子どもたちの「学びの継続」を進めるため、教職員が一丸となって教育活動取り組んで参ります。世界的大流行となった新型コロナウイルス感染症が、より一層の終息を迎え、安心して日常生活を過ごせる日々が早急に訪れることを願っています。このような時代だからこそ、日々努力することの大切さや、時間を無駄にしないこと、そして、支えてくれている周りの人たちへの感謝の気持ちを大切にしてほしいと思います。今年度も、昨年度と同様に「自主・自立の確立」に向けた、次の3つの事がらを心掛けてほしいと考えています。

1、『あ』・・・挨拶ができる人になる

人と人がコミュニケーションをとる始まりとなるのが「挨拶」です。相手のことを思いやり、そして、自分も尊重されているという確認の表れとなります。礼儀の第一歩となる「挨拶」をおろそかにすることなく、大きな声で、気持ちよく挨拶することを心掛けてください。

2、『ひ』・・・人の話を素直に聞くことができる人になる

君たち一人ひとりの健やかな成長を願って、たくさん的人がより良いアドバイスを投げかけてくれています。ただ単に話を「聞く」だけで終わらずに、話の内容を理解し、自分で考え、行動に移すために、耳を傾けるだけでなく「聞く」ことができる人に成長してください。

3、『る』・・・ルールを守ることができる人になる

お互いに楽しい学校生活を過ごすためには、学校にもルール（きまり）があります。ルールを守ることで、秩序が保たれ、互いに人権を尊重する繋がりをつくりあげていくことができます。ルールを守り、城陽中学校の生徒としての自覚を持って、責任ある行動を心掛けてください。

保護者の皆さん、今年度も校長室だより「羅針盤」を通じて、私から子どもたちにメッセージを届けたいと考えています。保護者の皆様も、是非お子様とご一緒に読みいただければ幸いです。（校長 坂井 伸治）

昨年の春に着任し、2年目を迎えた校長の坂井伸治（さかいしんじ）です。

今年度も引き続き、城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、よろしくお願ひいたします。共に学び続ける子どもたちのために、道標となるようにという願いを込めた、校長室だより「羅針盤」を継続して発行していく予定です。また、学校ホームページでは、日々の教育活動の様子等を、引き続き公開していくので、是非アクセスしていただき、ご覧ください。

